

## 平成24年度行政評価委員会 議事要旨

|      |  |
|------|--|
| 会議名  | 葛飾区行政評価委員会 第3回第一分科会  |
| 開催日時 | 平成24年7月20日(金) 午前10時から正午  |
| 開催場所 | 葛飾区役所新館5階 庁議室  |
| 出席者  | 【委員5人】<br>大石会長、柴田委員、佐々木委員、曾根委員、浜本委員<br>【区側3人】<br>リサイクル清掃課(リサイクル清掃課長)<br>事務局(経営管理課職員2人) |

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 事務事業概要説明

##### (1)「不法投棄防止対策」

(リサイクル清掃課より、「不法投棄防止対策」の概要について説明した後、質疑応答)

会長 「成果指標」の「不法投棄物の年間処理個数」の実績値はどのように算出しているか

リサイクル清掃課 清掃事務所、公園管理所、道路補修課において、不法投棄物として処理をした個数の合計である。

A委員 処理個数と不法投棄個数はほぼ同じと考えていいか。

リサイクル清掃課 考えてよい。

B委員 「活動指標」である「不法投棄防止協力員通報数」が減少しているのは、不法投棄防止対策の成果があがった結果と考えていいか。

リサイクル清掃課 「不法投棄物の年間処理個数」の実績値は増加している。成果というよりは、せっかく「不法投棄防止協力員」の方が通報していただいても、不法投棄が一向に減少しないため、通報数が減少しているという側面もあるのではないかと。

#### 3 現場視察

(区内2か所を視察)

#### 4 事務事業ヒアリング

##### (1)「不法投棄防止対策」

A委員 ごみの排出量について区ホームページで見たが、18年度から20年度までは減少し、その後は増加しているが、このことについてどのように分析しているか。

リサイクル清掃課 ごみの排出量は、社会経済状況と大きく関係していると考えている。家電製品等の粗大ごみは、社会経済状況と連動して、20年度まで減少したが、地上デジタル放送への移行をきっかけとして、再び増加してきた。

A委員 区が対策を行ったからというわけではないのか。

リサイクル清掃課 そのとおりである。

A委員 不法投棄について、家庭系ごみと事業系ごみの比率はどうなっているか。

リサイクル清掃課 ほとんどが家庭系ごみである。粗大ごみは事前申込制で、引き取りまでに1週間待っていただくこともある。引越の際に引き取りが間に合わず、投棄してしまうケースがあるようだ。

A委員 不法投棄に限らず、ごみ全体でみると家庭系ごみと事業系ごみの比率はどうなっているか。

リサイクル清掃課 家庭系ごみが約6割、事業系ごみが約4割となっている。

A委員 区民1人あたり1日にどれだけの量を排出しているのか。

リサイクル清掃課 約700gである。徐々に減少しているが、最近、減少幅が小さくなっている。

A委員 今回の量は持ち込みも含めた量か。

リサイクル清掃課 含めた量である。含めないと550gになる。

B委員 無料で家電製品等を引き取ると謳っている業者があるが、引き取る際に料金を請求されトラブルになり、警察に通報したことがある。土日だったので区に相談ができなかった。

区で、こういった被害に対して、周知する等の対策をとっていただくことはできないのか。

リサイクル清掃課 無料と謳いながら実際は処理料として料金をとるなどしてトラブルも多発している。区では、「そのような業者には出さないでほしい」と区ホームページに掲載し、周知を図っている。また、東京都と連携して、いくつかの業者には立入検査を実施している。

B委員 家電製品等は廃棄する際に料金がかかるが、不法投棄を防止するためには購入時の価格に処理料金が含まれていた方がよいのではないか。

また、一人暮らしの高齢者の中には、どのように排棄すればいいのかわからない人もいる。そうした場合には、有料でもかまわない

ので、区が収集し、その後適正な廃棄を区で行うという方法をとってはどうか。

リサイクル清掃課 今年4月から、粗大ごみ持込ステーションを設置した。手数料が200円以下の物であれば、持ち込んでいただければ無料で引き取っている。家電製品も有料ではあるが引き取っている。

持ち込むことができない区民に対する対応については、法制上の課題もあるが、区民の需要があるならば、対応できるように工夫していきたい。

C委員 高齢者の中には家の外への運び出しが難しい人もいる。柔軟に変えることはできないか。

リサイクル清掃課 電話で申し込んでいただければ家の中まで入って運び出しを行っている。

C委員 マンションでは運び出しを行っていないのではないかと。私は1年に一度、ボランティアでそういった人の運び出しのお手伝いをしている。

リサイクル清掃課 セキュリティの関係等でなかなか難しいケースもあるようだ。

会長 「不法投棄防止協力員」はどのように募集しているか。

リサイクル清掃課 自治町会から推薦をいただいた方を委嘱している。

会長 夜間パトロールを委託で実施しているとのことだが、昼間も実施することは可能なのか。

リサイクル清掃課 可能だが、夜間に投棄されることが多いので「不法投棄発見パトロール」になってしまう。未然防止という観点からすると、夜間の方が効果は高いと思われる。

B委員 近所に自転車がよく放置される場所があるが、1年に何度か、区に連絡し警告書を貼ってもらっている。不法投棄か否か判断しづらいという事情もあると思うが、もっと厳しく対応してもよいのではないかと。

C委員 最近、駅前に放置自転車が少なくなり、撤去等に経費もかかったと思うが、きれいになった。ただし、駅前に停められなくなったかわりに、路地に入った場所に違法駐輪が多くなったように感じる。区が空いているスペースに駐輪場を設置することはできないのか。

リサイクル清掃課 区では、駅前などに駐輪場の整備を進めている。地域によっては需要と供給のバランスがうまくとれていない地域もあるかもしれないが、徐々に取り組んでいるところではある。

D委員 「成果指標」の「不法投棄物の年間処理個数」の実績値が年々増加しており、喜んではいられない状況である。「活動指標」の「夜間パトロールの1回あたり巡回地点」については、目標値を毎年度達成しており、素晴らしい。現場視察で不法投棄が改善された現場を

見たが、その原因としては、監視カメラの設置以外では何が考えられるか。また、地方では、産業廃棄物の不法投棄で困っている地域もあるが、葛飾区内では産業廃棄物の不法投棄はないのか。

リサイクル清掃課 葛飾区内では産業廃棄物の不法投棄はない。改善の原因については、近隣に人の目がない状況で、監視カメラの効果はやはり大きかったと思う。不法投棄が頻繁に行われる場所については、夜間パトロールも重点的にやっている。また、近隣の関係者が、こまめに清掃することで、捨てづらい環境が作られている可能性もある。

C 委員 区内にごみ集積所は何か所あるか。

リサイクル清掃課 約2万か所である。

B 委員 以前住んでいた場所で、不法投棄が頻繁に行われる建物があったが、不法投棄に関する処理料金の負担や監視をその建物の管理者に行ってもらうようになってから、改善されたと聞いたことがある。建物の管理者の取り組む姿勢によって大分違うのではないか。

リサイクル清掃課 責任が分散すると、他人事として考えてしまいがちである。その結果、ごみが放置されたままとなり、また新たなごみを呼ぶという状況になりやすい。

そうした状況のごみ集積所については、清掃事務所で住民指導をしている。ただ昼間に誰もいない場所もあり、なかなか改善されないこともある。

C 委員 アパートの場合には大家に管理をお願いすることになるのか。

リサイクル清掃課 大家によっては管理会社にまかせっきりの場合もある。コミュニティそのものが昔と変わってきている。

B 委員 ごみが放置されていると、24時間365日いつでもごみを出しているように見えてしまう。

リサイクル清掃課 住宅地だと、近所の人々の目があって秩序が保たれていることがある。ごみ集積所は約2万か所あるが、たいていの場所ではしっかりと出してもらっている。

A 委員 資源の持ち去りはどうにかならないか。

リサイクル清掃課 6月25日から資源の持ち去り防止対策で、収集車が1時間早く回り、持ち去られる前に収集するように取り組んでいる。例年より多くの資源を集められている。対策としては、集団回収を推進することが最善と考える。

## 5 その他

## 6 閉会